

# **HEDD: Type 30 Active Monitors**

**REVIEWED BY ANDY HONG**

HEDD のこのアクティブな 3 ウェイ・ミッドフィールド・モニターはとても信じられないものです。私は自分のスタジオ用にペアを購入しました。このレビューの最後に割り込んで、どれくらいの費用がかかったかを見てみましょう。それぞれ\$ 3,999 です。わかりやすく、私の決定は簡単でした。実際、NAMM ショーにデモ・ペアを送ってから数週間後、私は自分の予算を再考してスタジオに固定設備としてセットを導入することにしました。(当時、私のデモスピーカーは米国のこのモデルの唯一のものでした)

この雑誌の長年の読者は、私が 15 年間 ADAM S3-A のアクティブモニターと私のオフィスワークステーション用に ADAM P11-A を 15 年間使用していることをご存知だと思います。長年にわたり、ここに掲載されたさまざまな製品のレビューで両方のモデルを使用してコメントしてきました。この間、多くの素晴らしいスピーカーをデモで聴く機会がたくさんありましたが、HEDD Type 30 は ADAM S3-A を取り替える決心をさせた最初のモニターです。

Heinz Electrodynamic Design の略である HEDD は、2015 年にクラウス・ハインツと彼の息子 Frederik Knop によって設立されました。フレディは音楽学の博士号を取得しており、活発なミュージシャン、作曲家、リスナーズ・マスタリング

<[www.listeners.berlin](http://www.listeners.berlin)>のマスターエンジニアです。Elder Klaus は 40 年にわたるハイエンドのスピーカーデザインを手がけるアコースティックのプロフェッショナルです。Klaus 氏は、Oskar Heil のエアモーション・トランスフォーマーのプリーツ・ダイヤフラム・リボントランスデューサ設計をプロオーディオ市場向けのスピーカーに組み込むことに成功した最初のスピーカーデザイナーであったことは間違いありません。ですから、ADAM に対する私の愛は、HEDD のより新しい、おそらく進化的なデザインに左右されるのは理にかなっているようです。それでは、HEDD Type 30 の音に対する私の最初の反応が、私には非常に困惑を覚えさせてくれたことをお教えします。

私のコントロールルームの Type30 を聴いて最初の 15 分後、私は 4 つのポイントを指摘しました：(1)HEDD サウンドは ADAM と同じように折り畳みリボンツイーターが、“エキサイティング”ではありませんでした。

(2)S3-A の 7.3 インチ・ミッドウーファーと同じように見えるウーハーと比べて、Type30 には 2 つの 7"ウーファーと専用 4 インチミッドレンジドライバーが搭載されています。HEDD の中低域は “重く、遅い” 感じを受けました。

(3)Type30 の低域拡張が明らかに優れていました。

(4) Type30 のイメージングは、私の 3 つの同軸モニターと同様に、単独で聞いたときに、ほとんど点音源精度で、はるかに素晴らしものでした。私はポイント 3 と 4 に満足していましたが、1 と 2 に関しては失望しました。私は、ドライバーを「エージング」することで、暗くて鈍い音が緩和されることを期待して、一晩中 Type30 を大音量で鳴らしました。

翌日、Type30 の印象を更新する前に、さまざまなプロジェクトに取り組んでいる間 HEDD を何時間も聴いていました。結果

(1) 私の ADAM のように最高レベルの「エキサイティング」ではありません。

(2) 中低域は「タイト」な感じで、ミッドレンジのディテールやダイナミックさを聴き取る事ができ感動しました。

試聴して 3 日目に、私が HEDD で聴いていた音は、私が ADAM で聴いて慣れていた音よりも、実際にはより真実ではないかと疑い始めました。それを感じたのは、私の Cross / Spectrum Labs のキャリブレーションされたマイクを用いて慎重に測定したときです。ここに私が学んだことがあります：

Type30 は S3-A よりもはるかに少ない高調波歪みを示し、特に高域では、Type30 が S3-A と同じように「エキサイティング」ではない理由が説明されています。3~10 kHz の HEDD ツイーターは、S3-A の第 1 世代 ADAM ツイーターよりも 15 dB 低い THD です。私が思ったのは、ADAM のサウンドの余分な高周波のディテールは、実際には歪みです。さらに、周波数スペクトルの大部分にわたって、Type30 は S3-A よりも大幅に少ない第 3、第 4、および高次高調波歪みを示します。私は P11-A スピーカーの歪みも測定しましたが、これも S3-A に似た特性を持っていま

す。これは、なぜ Type 30 が私の ADAM よりも「刺激的」ではないのかを説明しています。

さらに、HEDD ツイーターは 30kHz(マイクのレスポンスの限界)を超えて伸びています。ADAM ツイーターは 20kHz で急激に低下し始めます。当然のことながら、HEDD ツイーターの位相応答は、ADAM ツイーターよりもはるかに拡張されているため、6~30 kHz の範囲で制御されています。

中低音に関しては、Type30 は S3-A よりも 250~500Hz のエネルギーが 1-2dB 多いことが認められます。しかし、Type 30 のインパルス応答がより正確であることは、特に同じ帯域で顕著です。セリング時間は S3-A の半分であり、オーバーシュートは、ほとんどありません。つまり、Type 30 の中低音域は、単なるボリュームだけを聴いているのではなく、時間領域の不鮮明さが少なく、より詳細な情報を再現しています。

残りのスペクトルに関しては、Type30 の周波数応答は本質的に 30Hz まで平坦です。S3-A の応答は 90 Hz で揺れ始め、30 Hz で 6 dB 下がります。これの 1 つの結果は、Type30 の群遅延と 30Hz 付近の共振がより大きくなることですが、それはキャビネットポートのチューニングとより優れたウーファーとの組み合わせの結果として深い低域を再生します。重要なことは、このレゾナンスをスペクトル内であまり低くすると、通常は再生される音質が低下します。つまり、HEDD Typ30 のバスレフチューニングは、全体的なサウンドに悪影響を与えることが無いということです。

HEDD Type 30 と ADAM S3-A の両方が同じ人によって設計されていることを考えると、実際には、これらのスピーカーモデルがどのように発展して、この測定結果をもたらしたかにかかなり驚い

ています。公平であるために、私は後期世代の ADAM スピーカーと多くの時間を過ごしていません。もし私がそうしたとしても、進化論的なつながりが私には明らかになります。今のところ、HEDD Type 30 は初期の ADAM とは音質が大きく異なると主張します。あなたが ADAM サウンドのファンではない(そして私の友人や同僚の多くが ADAM の “エキサイティングな” サウンドを嫌っていることを知っています)、HEDD のオーディションからあなたを止めるべきではないと私はさらに主張します。

これらのテストノートと説明を別にすれば、Type 30 は実際のレコーディングやミキシングの状況でどのように機能するでしょうか。私は HEDD を唯一のスピーカーとして使用して、SXSW 2017 の映画プレミアである La Barracuda のサウンドトラックのために 2 つの Chris Brokaw の曲をトラックしました。ドラム、ギター、ベース、ピアノを録音すると、Type30 の真のディテールとニュートラルな音色を味わうことができました。比較のために 2 番目のスピーカーに切り替えるという衝動は一度もありませんでした。トラックが完了したら、私はラフなミックスを家に持ってきました。ホームハイファイシステムやさまざまなヘッドフォンで「正しい」ものがまだ聴こえることを喜んで発見しました。要するに、翻訳は非常に予測可能であるように見えました。

残念ながら、Chris が実際のミックスを完了する前に、冒頭で述べたように HEDD を NAMM ショーに送る必要がありました。ADAM S3-A スピーカー(私が信頼して 15 年間愛していたもの)への切り替えは、啓示の逆でした。私は混乱を抱えているように感じました。私たちはミックスを完了しましたが、驚くことではなく、ミックスは 1 週間後に改訂されました。その時に、私は自分のために HEDD のペアに投資することを決めました。

手元にクレジットカードを置いて、私は Alto Music を急いで呼び出しました。2 日後、私は HEDD で Chris Brokaw の曲をリミックスしていました。言うまでもなく、私はすぐに、ミックス翻訳がシームレスになることを期待して、より快適に感じました。

私の話が終わりましたので、HEDD ライン全体を考慮した注目すべきデザインの詳細をいくつかお見せしましょう。ドライバーのすべては、クラウド・ハイツによって設計され、HEDD 専用に製造されています。内蔵の D 級アンプは ICEpower から供給されます。キャビネットはユニボディのような構造で、マットな滑り止めコーティングで覆われています。入力にはバランス型 XLR とアンバランス型 RCA が装備されていますが、AES3、Dante、または AES67 接続では、オプションの HEDD ブリッジカードがまもなく使用可能になります。3 つのセンター・デテント・ポテンシオメータは、ロー・シェルフとハイ・シェルフのレベルを調整します。詳細を知りたい場合は、HEDD のウェブサイトを訪れてみてください。うまく設計され、非常に有益です。